



2025年度 上期決算説明会

東京証券取引所プライム（証券コード：7294）

代表取締役社長 平中 勉

目次

- I. 上期業績サマリー
- II. 上期業績
- III. 通期業績予想
- IV. 株主還元
- V. トピックス

I. 上期業績サマリー

上期業績サマリー

2025年度上期実績

- ・**減収増益**。日本・アジアの生産台数減及び米州の為替換算影響等による減収があるものの、「Success 25V」合理化活動の推進、品質改善等で**営業利益は前期比8.4倍の増益**
- ・適切な計画に基づく資金調達で財務状況は健全な状態を維持

2025年度見通し

- ・主要顧客の生産動向を鑑み、売上高は当初予想を下回る見込み
- ・構造改革費用などがあるものの、合理化や品質改善などにより、利益は当初通期予想を堅持

株主還元

- ・2025年度**中間配当は15円（決定）、年間31円（予定）**
2024年度配当実績**年間31円**

Ⅱ. 上期業績

【上期】2025年度上期連結決算概要（前年同期比）

単位：百万円	2024年度 上期	2025年度 上期直近予想※2	2025年度 上期	前回公表値比	前年同期比
売上高	90,942	84,000	83,763	△0.3%	△7.9%
営業利益	120	630	1,009	+60.3%	+8.4倍
経常利益	△1,958	530	842	+59.0%	+28億円
当期純利益※1	△2,588	100	152	+52.1%	+27億円

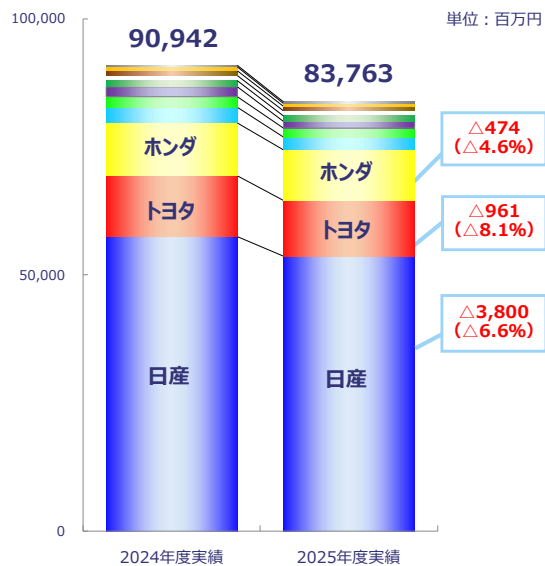
※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 2025年8月8日時点予想値

	2024年度 上期 A	2025年度 上期 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	△106円25銭	6円27銭	+112円52銭	--
連結取り込みレート	152円36銭 / \$	148円48銭 / \$	△3円88銭 / \$	△2.5%

- ◆ 売上高 日本・アジアの生産台数の減少、米州の為替換算影響・金型売上の減少で減収
- ◆ 営業利益 合理化活動の推進・品質改善などにより増益
- ◆ 経常利益 営業外費用の低減により増益
- ◆ 当期純利益 経常利益の増加などにより増益

【上期】連結得意先別売上高（24年上期実績 対 25年上期実績）



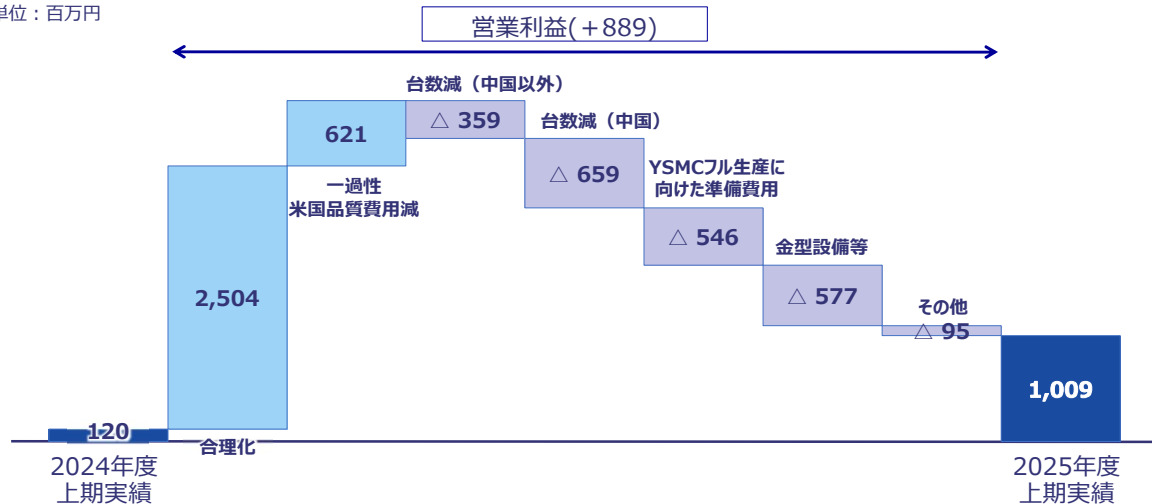
得意先	2024年度 上期	(%)	2025年度 上期	(%)
日産 Gr※	57,473	63.2%	53,673	64.1%
トヨタ Gr	11,862	13.0%	10,901	13.0%
ホンダ Gr	10,341	11.4%	9,867	11.8%
いすゞ Gr	3,043	3.3%	2,472	3.0%
マツダ	2,093	2.3%	1,737	2.1%
VW	1,947	2.1%	1,345	1.6%
クボタ	995	1.1%	1,052	1.3%
SUBARU	976	1.1%	1,026	1.2%
Mercedes Benz	1,131	1.2%	836	1.0%
スズキ	714	0.8%	558	0.7%
その他	367	0.5%	296	0.2%
合計	90,942	100.0%	83,763	100.0%

※ ルノー・三菱向け売上含む

- ◆ 多くの得意先で2024年比減収
- ◆ トヨタ向け割合は13%維持

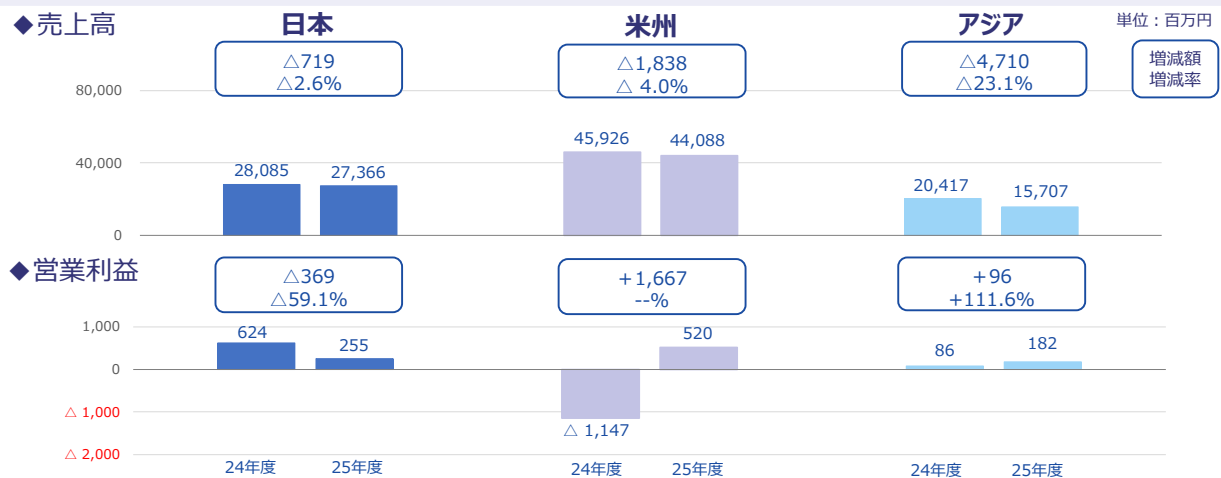
【上期】連結営業利益の増減要因分析（24年上期実績 対 25年上期実績）

単位：百万円



台数減影響・YSMCフル生産に向けた準備費用等あるものの、
「Success 25V」合理化改善活動の推進等により増益

【上期】地域別売上高・営業利益 連結調整前（24年上期実績 対 25年上期実績）



- ◆ 日本 ヨロズ大分での大規模な合理化改善効果はあるものの、生産台数減影響及びYSMCフル生産に向けた準備費用等により減収・減益
- ◆ 米州 為替換算の影響・金型売上減等あるものの、合理化等により減収・増益
- ◆ アジア 生産台数減影響を合理化等により吸収し減収・増益

財務状況 2025年9月期

(単位：百万円)		2025年3月末 A		2025年9月末 B		前期比(B-A)	
自己資本		52,009		51,672		△337	△0.6%
自己資本比率		38.1%		39.9%		--	--
有利子負債	DEレシオ	0.82	42,763	0.71	36,501	△6,262	△14.6%
NET有利子負債	NET DEレシオ	0.29	14,833	0.32	16,571	1,738	11.7%
総資産		136,601		129,356		△7,245	△5.3%
(単位：百万円)		2024年9月期 累計 A		2025年9月期 累計 B		前期比(B-A)	
営業キャッシュフロー		△561		1,497		2,058	--
投資キャッシュフロー		△6,031		242		6,273	--
財務キャッシュフロー		2,157		△5,923		△8,080	--

適切な資金調達計画でDEレシオは健全な状態を維持

(ご参考) 連結貸借対照表の概要 2025年9月期

単位：百万円					
	2025年3月末 A	2025年9月末 B	増減 B-A		
流動資産	81,159	74,278	△6,881	現金	△8,000
固定資産	55,441	55,078	△363	受取手形及び売掛金	378
資産合計	136,601	129,356	△7,245	棚卸資産	854
				その他の流動資産	△203
流動負債	51,292	45,615	△5,677	有形固定資産	△1,133
固定負債	24,105	23,241	△864	投資その他の資産	709
負債合計	75,397	68,857	△6,540	支払手形及び買掛金	△1,988
株主資本	44,036	43,803	△233	電子記録債務	436
その他の包括利益累計額	7,973	7,868	△105	短期借入金	△4,711
非支配株主持分他	9,193	8,826	△367	1年内返済予定の 長期借入金	△608
純資産合計	61,204	60,498	△706	その他	271
負債・純資産合計	136,601	129,356	△7,245	長期借入金	△818
				その他	119
				当期純利益	152
				配当支払	△388
				その他有価証券評価 差額金	695
				為替換算調整勘定	△886

Ⅲ.通期業績予想

【通期】2025年度連結業績予想の概要

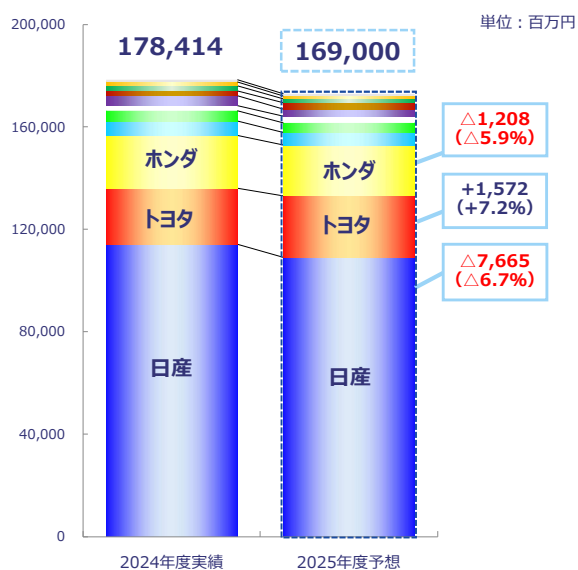
単位：百万円	2024年度実績 A	売上高 比率	2025年度 予想 B	売上高 比率	増減額 B-A	増減率
売上高	178,414	100.0%	169,000	100.0%	△9,414	△5.3%
営業利益	298	0.2%	2,600	1.5%	2,302	8.7倍
経常利益	△2,077	--	1,800	1.1%	3,877	--
当期純利益※1	△13,448	--	800	0.5%	14,248	--

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

	2024年度実績 A	2025年度予想 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	△551円45銭	32円98銭	+584円43銭	---
連結取り込みレート	151円68銭 / \$	143円00銭 / \$	△8円68銭 / \$	△5.7%

- 主要取引先の生産動向を鑑み、売上高は前期を下回る見込み
- 営業利益、経常利益及び当期純利益は堅持

【通期】連結得意先別売上高（24年実績 対 25年予想）



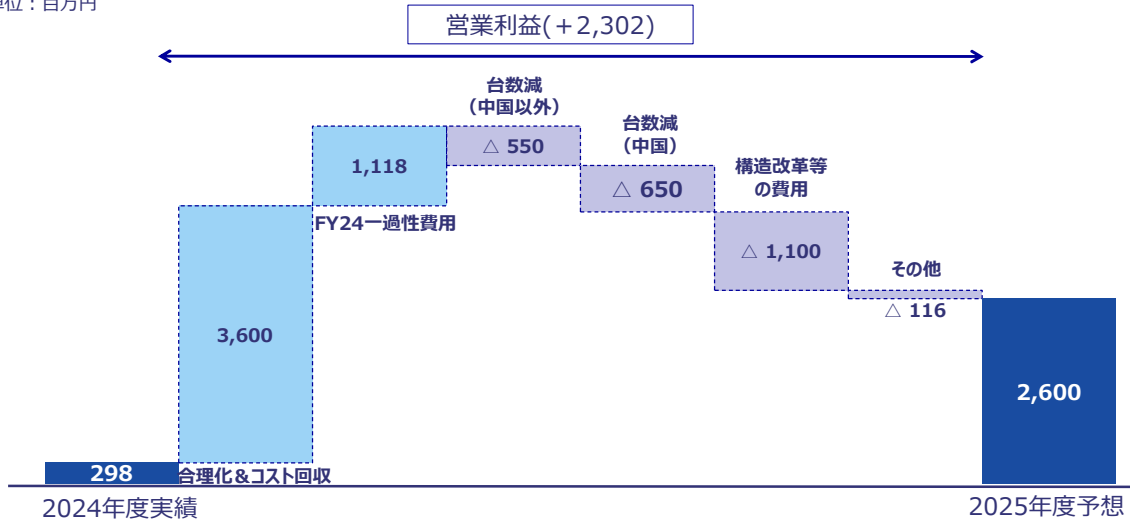
得意先	2024年度	(%)	2025年度	(%)
日産 Gr ※	114,233	64.0%	106,568	63.1%
トヨタ Gr	21,875	12.3%	23,447	13.9%
ホンダ Gr	20,573	11.5%	19,365	11.5%
いすゞ	5,597	3.1%	4,775	2.8%
マツダ	4,106	2.3%	3,625	2.1%
クボタ	1,936	1.1%	2,659	1.6%
VW	3,925	2.2%	2,626	1.6%
SUBARU	1,830	1.0%	2,457	1.5%
Mercedes Benz	1,973	1.1%	1,412	0.8%
スズキ	1,480	0.8%	1,126	0.7%
その他	886	0.6%	940	0.4%
合計	178,414	100.0%	169,000	100.0%

※ ルノー・三菱向け売上含む

トヨタ向けがさらに伸長

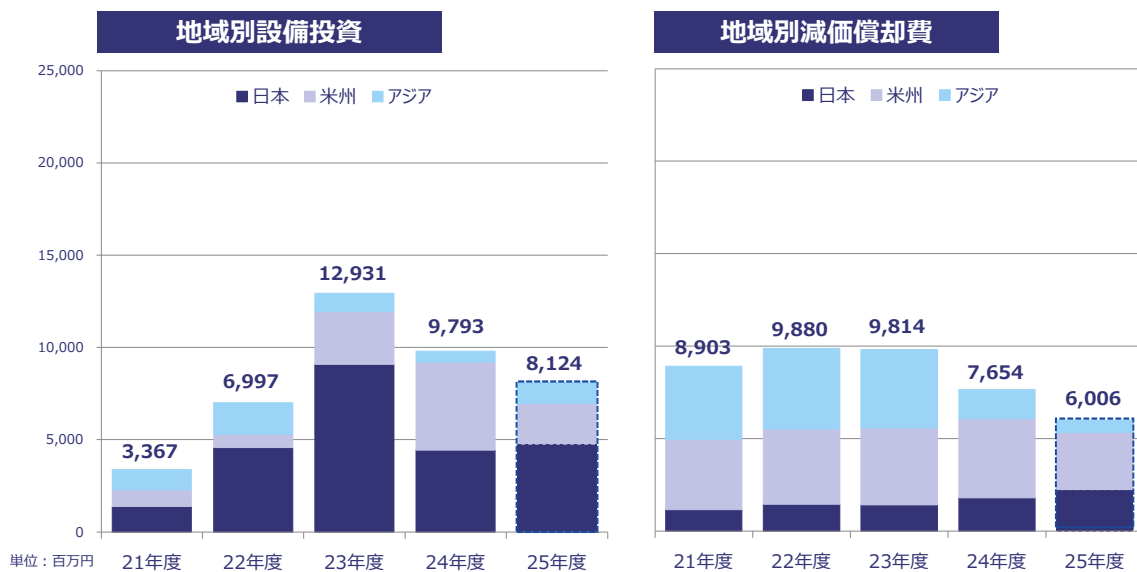
【通期】連結営業利益の増減要因分析（24年実績 対 25年予想）

単位：百万円



「V字回復」によるYSP2026最終年度収益達成に向け確実な収益体質への回帰を目指す

設備投資と減価償却費



IV.株主還元

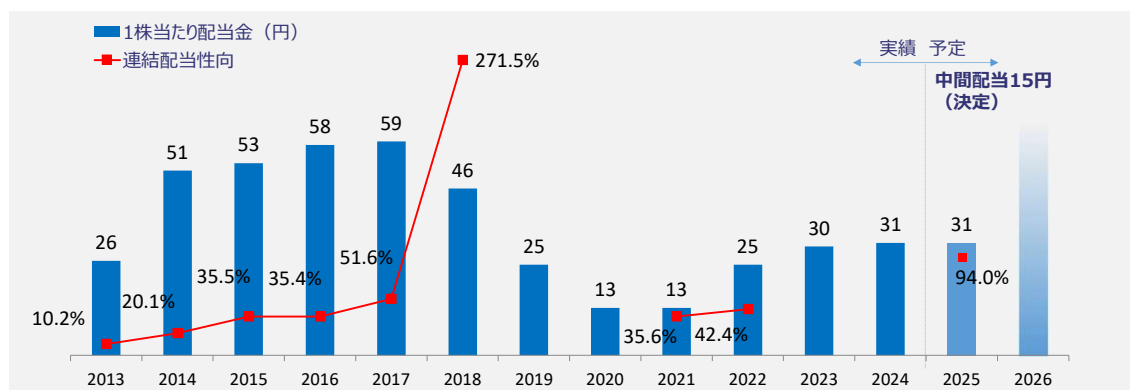
株主還元

株主支援に報いる還元政策

● 配当方針

1株当たり配当31円を下限とし、配当性向35%以上を目指す

1株当たり配当金（円）



V.トピックス

トピックス（YSP2026の進捗）

方針	方策	進捗トピックス	説明
事業基盤の強化	① 新技術・新工法の創出と拡販	・軽量化とコストダウンを両立する、差厚鋼板加工技術(げんにくん) Japan Mobility Show 展示 ・新型パトロール車 ラダーフレーム部品の開発 Japan Mobility Show 展示 ・ヨロズサステナブルマニュファクチャリングセンター(YSMC)開所式 開催	○ ○ ○
	② 収益目標の達成	・新型パトロール車 ラダーフレーム部品の開発 Japan Mobility Show 展示	○
	③ 資本効率向上	・キャッシュフローの最適化や資金繰りの検討を実施	
経営基盤の強化	④ E (環境対応力の向上)	・YSMCのCN化事例より、輪之内町のゼロカーボンシティ化を支援 Japan Mobility Show 展示	○
	⑤ S (エンゲージメントの向上)	・厚生労働大臣が認定する「プラチナくるみん」(優良子育てサポート企業)を取得	
	⑥ G (ガバナンスの向上)	・2025年 統合報告書の発行(ダイジェストビデオも公開)	○

出展の意義

年々、部品メーカーの出展数が減少する中、厳しい環境下ではあるが、自動車業界の一員として、自動車産業の成長発展に貢献していく。

ブースコンセプト：「ワクワクする未来をヨロズと共に-Exciting Future with YOROZU」

3つの課題の解決策を訴求！

●カーボンニュートラル化

地域と連携したモビリティタウンの未来像を提案



地域共生

●電動化

「げんにくん」により、軽量化とコストダウンを提案



特許出願中

●持続可能性

新型パトロール部品の技術革新で表現



共同開発

出展状況



ブース全景



プレス ブリーフィング



会社紹介プレゼンテーション



軽量化技術パフォーマンス



超ハイテン材の強さ体験



輪之内町マスコット「かわはたくん」

① 新技術・新工法の創出と拡販

軽量化技術の更なる磨き：新たな成形技術で差厚板材による軽量化

新プレス工法：

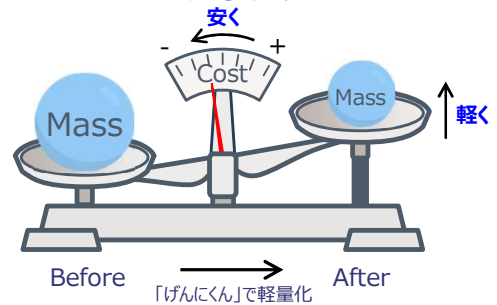
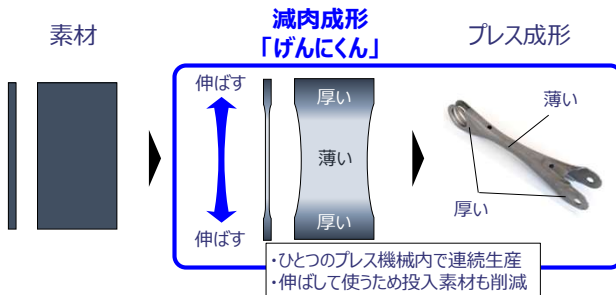
「げんにくん」

プレス加工のみで差厚鋼板を成形

特許申請中

目指す姿：

軽量化とコストダウンの両立



要素技術開発完了、OEMへ採用提案活動を開始
増肉成形技術についても開発・検討中

YOROZU

Copyright © YOROZU Corporation

23

① 新技術・新工法の創出と拡販 / ② 収益目標の達成

① 新技術・新工法の創出と拡販

【方策1】軽量化技術の更なる磨きと
製品領域拡大への挑戦

② 収益目標の達成

【方策2】金型・生産設備の開発強化



新型日産パトロール軽量・高性能ラダーフレーム ■：当社製品



新型パトロールラダーフレーム部品
日産 Global Innovation Award 受賞

新型日産パトロール車 軽量・高性能ラダーフレームの開発に対し、980MPa超ハイテン材の採用(方策1)や、
難成形部品の、スピーディーな成形技術開発等(方策2)、当社の貢献が評価された

YOROZU

Copyright © YOROZU Corporation

24

ヨロズサステナブルマニュファクチャリングセンター（YSMC）開所式

- 日時 : 11月21日(金)
- 開催地 : YSMC本社工場



- ご招待客
115社・団体、131名
自動車メーカー、お取引様
地元行政、公的機関
銀行、監査法人、等

- 主な出席者
衆議院議員 野田聖子様
参議院議員 若井あつこ様
岐阜県知事 江崎禎英様
輪之内町長 朝倉和仁様



植樹式



起動式



鏡開き



ヨロズサステナブルマニュファクチャリングセンター（YSMC）開所式

自動車
部品メーカーの
モデル工場に向けた
取り組み

1 グリーン電力・太陽光発電による、カーボンニュートラルな工場

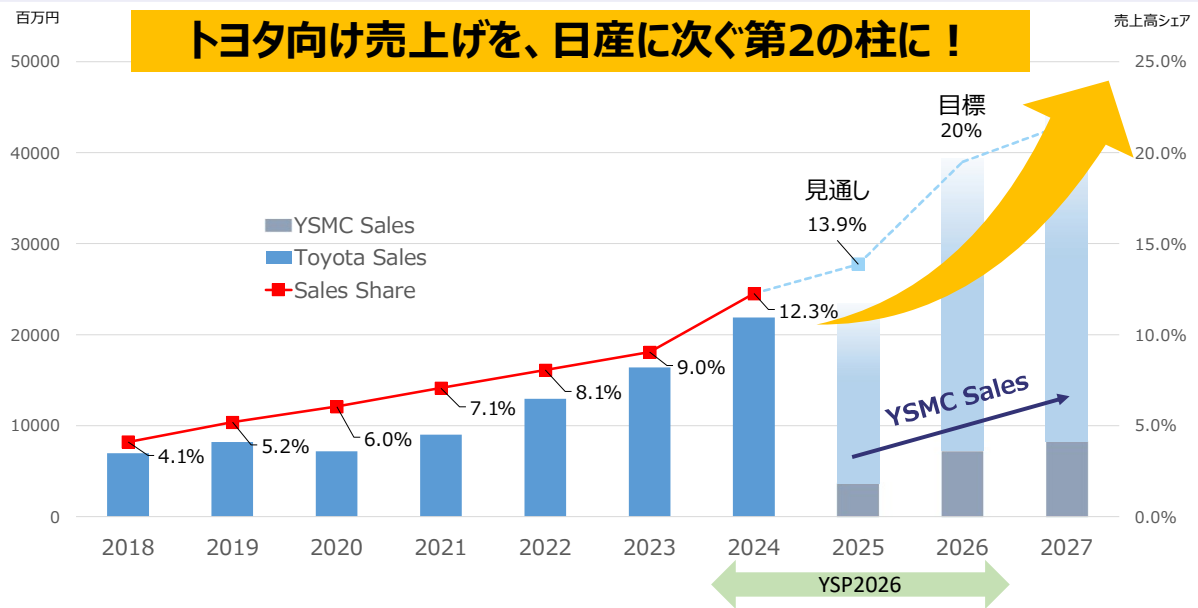
2 最新鋭オール電化塗装設備・最強の連結トランスファープレス機

3 安定供給を実現する管理面の強化

4 人と地球にやさしい現場環境

5 地域の防災拠点

トヨタGr グローバル売上高 推移



ヨロズ製品採用 25年度 新規発売車種

マツダ CX-5



トヨタ bZ4X
(BEV)



スバル ソルテラ
(BEV)



日産 リーフ
(BEV)



日産 ルークス

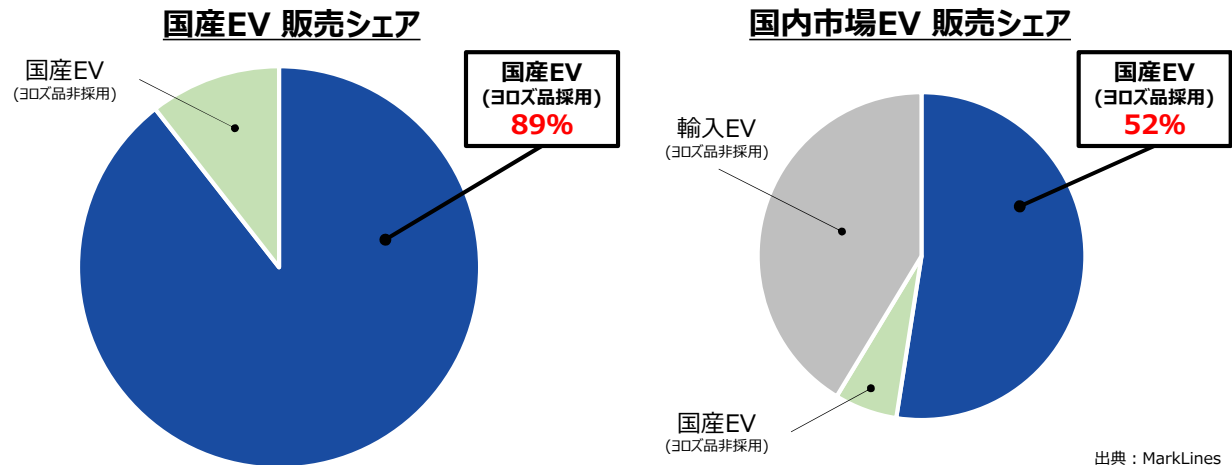


ホンダ N-ONE e:
(BEV)



ヨロズ製品採用EV 日本市場販売シェア（25年 1-10月）

国産EVの約90%、輸入EV含めても約半分以上に、ヨロズ製品が採用



G(ガバナンスの向上)

統合報告書 発行のお知らせ

日本語版：<https://www.yorozu-corp.co.jp/share/uploads/2020/01/Integrated-Reporting2025.pdf>
英語版：<https://www.yorozu-corp.co.jp/share/uploads/2020/01/Integrated-Reporting2025En.pdf>

ダイジェスト動画：<https://youtu.be/aCbmAjzTDwM>



取組みをご確認いただくと幸いです

～全てのステークホルダーから「選ばれる会社」へ～

免責事項と著作権

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さいますようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

責任者：(株)ヨロズ 常務執行役員
担当：(株)ヨロズ 経理部 主担

矢後 敏之
劉 雪輝

T E L 045-543-6802

YOROZU

Copyright © YOROZU Corporation